

求人票

◆求人者：

会社名：株式会社学研プロダクツサポート

※採用後、親会社である株式会社学研ホールディングス（東証プライム市場上場）への出向となります。

住所：東京都品川区西五反田 2 - 1 1 - 8

URL：<https://gakken-ps.co.jp/> （株式会社学研プロダクツサポート）

<https://www.gakken.co.jp/ja/index.html> （株式会社学研ホールディングス）

◆募集職種：法務室

◆法務室体制：

法務室は、学研グループ全般の法律関連の業務、株主総会の運営や登記関連、著作権・産業財産権等知的財産権の取扱い、及びその周辺業務を扱うセクションで、室長以下、法務チーム 4 名、知財チーム 3 名、株式チーム 4 名の合計 12 名体制で業務を行っています。

◆募集背景：グローバル体制の拡充

◆担当する主な業務内容：

- ・海外案件に関する法令相談（知財以外）、トラブル相談、訴訟対応、M&A 対応
- ・海外子会社と本社間のガバナンス・統制強化
- ・英文契約書のリーガルチェック
- ・その他、クロスボーダーM&A に関する助言
- ・但し、国内案件に関する契約書チェック、法令相談、トラブル相談、訴訟対応、M&A 対応にも携わっていただく場合もあります

◆応募必須条件：

- ・大卒
- ・グローバル案件に興味がある（海外に関する知見や海外の法律知識の有無は問わない）。
- ・文章の読み書きに抵抗を感じないレベルの英語力がある（会話力は問わない）。
- ・法律の学習経験（例：法学部卒、法科大学院卒、法律資格試験の受験経験等）のある方。

◆歓迎条件：

- ・企業法務に興味がある方。
- ・英語の読み書きだけでなく、会話もできる方（若しくは、これから頑張りたい方）。
- ・国内または海外の弁護士資格を保有している方。
- ・法科大学院修了生（有資格者も歓迎）の方。
- ・海外案件にチャレンジしてみたい気持ちがある方。

◆求める人物像：

- ・未知の事案に対しても自分で考え、調べて、主体的に業務に従事できる。

- ・室内、チーム内でコミュニケーションを取りながら業務を進められる。
- ・何でも吸収しようという素直さがある。

◆雇用形態、雇用期間、試用期間：

正社員 期間の定めなし 試用期間 3 ヶ月

◆労働時間：

フレックスタイム制：始業と終業の時刻は労働者の決定に委ねます。

フレキシブルタイム：始業 7:00~11:00/終業 15:00~19:00

※標準となる 1 日の労働時間は 7 時間です。

※時短勤務制度、在宅勤務制度、遠隔地勤務制度もあります。

◆想定年収：

420 万円～

※上記年収には 20 時間分/月残業したと想定した時間外手当及び賞与が含まれています。

(残業代は実働に応じて全額支給)

※賞与あり (基本給 2 か月分程度。但し、業績や評価により変動します。)

◆休日：

土日祝 (完全週休 2 日制)

※年間休日 120 日以上

※年末年始休暇 (12/29~1/4)、ワークライフバランス休暇 (年間通じて合計 5 日間)、慶弔休暇、特別休暇・
年次有給休暇あり

◆福利厚生：

- ・各種祝金 (結婚・出産)
- ・お子様入学祝 (学研グループ商品を贈呈)
- ・財形貯蓄制度 (任意)
- ・社内研修制度
- ・社員食堂
- ・カフェテリアプラン制度 (年間 8 万円相当のポイントを付与。メニューにより傾斜ポイントあり。入社年度は期間按分あり。)
- ・従業員持株会制度 (任意)
- ・各種グループ保険・団体扱い保険 (任意)
- ・総合福祉団体定期保険 (会社負担の保険)
- ・インフォーマルグループ支援制度 (クラブ活動)

◆選考フロー：

①書類審査 (履歴書、職務経歴書、その他参考資料)

※書類選考通過者には面接の前に適性検査を受検していただきます。

②1次面接

③ 2 次面接

④最終面接

◆グローバル担当からのメッセージ：

初めまして、学研ホールディングス法務室・グローバル担当の者です。

この度は弊社の法務室のグローバル担当にご興味をお持ちいただき、ありがとうございます。

海外案件を主担当とさせていただき応募要項、驚かれていますでしょうか。それとも、ワクワクされていますでしょうか。現在、グローバル担当として具体的にどのようなことをしているのか少々お伝えさせていただければと思います。

弊社では、海外企業との M&A を推奨しておりまして、法務室のグローバル担当の、主な役割は、いわゆる「クロスボーダー M&A 交渉」と「海外子会社管理」に関する業務を担う役割となります。案件規模にもよりますが、私が担当している直近での業務配分は、英文契約（30%）・海外企業との交渉（60%）・その他（10%）となります。

海外 M&A 交渉では、M&A における契約書検討はもちろんのこと、交渉や事業部への法的観点からの助言を行います。

また、海外子会社管理では、国も法制度も異なるため、企業内の法務室としては海外企業での不祥事等を把握する体制を構築する必要があり、M&A 後の海外企業と本社の PMI 作業（企業間の統合作業）も行っています。

海外子会社の管理は、正解のない世界となり、事業部とともによく状況を分析・判断しつつ案件を進めて、いかに企業内の法務としてリスクを軽減できるかを模索する作業となります。また言語の壁を越えて、海外企業との契約交渉、M&A 後の PMI 作業を成功させる必要があるため、とてもチャレンジングかと思います。ただ、何事も、未知の分野は「やってみないとわからない」と個人的には思っておりまして、弊社の法務室の環境としても「とりあえず、やってみよう。」というスタンスがあるため、とても面白く・やりがいはあると感じております。

契約初期の交渉から買収後におけるグループ内での統合作業まで、M&A の実務経験に一気に携わることができるチャンスかと思います。海外現地の情勢も変化しやすく、最初は慣れないかと思います。しかしながら、そもそも M&A は難しい分野で且つ海外との企業となればさらにハードルは上がるので、慣れないのは普通かと思います。大切なのは、慣れない中でも一緒に働いていて楽しいと感じて頂けるか、難しいかもしれないが、やってみようと思えるかどうかかと思っておりまして、少しでもご興味のある方は、お互いを知っていく機会として、一度ご面接でお話させて頂けたら大変うれしく思います。

皆様のご応募を心よりお待ちしております。面談でお話できるのを楽しみにしております！

以 上